



1 ツバメ

ツバメは南の国からやって来る渡り鳥の代表です。

ツバメは空中を飛んでいる虫を餌にしているので、
農薬を使っていなかった昔は、稲作の害虫を食べ

てくれる大切な鳥でした。

家の軒下に巣をつくったツバメは、雷や火事を
防ぐ生きものと信じられ、人々に愛され大切に

されてきました。今も町のいろいろなところで、
子育てから巣立ちまでを見せてくれる身近な鳥です。

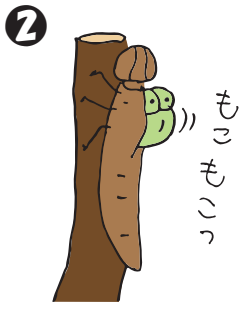


2 トンボの羽化

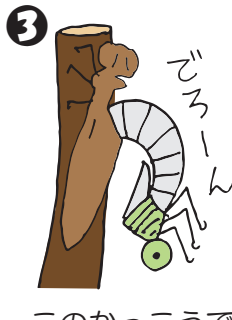
《ギンヤンマの場合》



木のうえにのぼり、
足場をかためる。



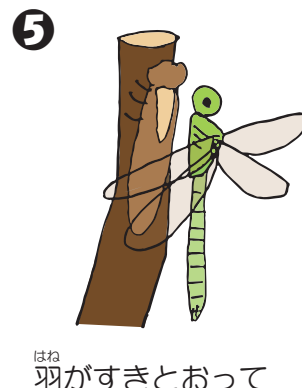
背中が割れて、
羽化が始まる。



このかっこうで
足がかたくなるのを
まっています。



羽は白っぽい。



羽がすきとおって
きたら、羽化の成功！

参照「かっぱ印川あそびブック」阿部夏丸著 ブロンズ新社

3 ゲンジボタル

6月ごろに羽化した成虫は、光ることでオスメスの間で
交信を行います。交尾を終えたメスは、卵が乾燥しない

ように、コケにうみつけます。約1ヵ月後に卵がふ化し、
幼虫は川の中でカワニナを食べて成長します。

春になって十分に成長した幼虫は、川岸の柔らかい土の
中でサナギになります。

成虫、卵、幼虫、サナギともに光ることができます。



カワニナ